

科目名 「医療コミュニケーション学Ⅳ（色彩学）」

学年	学期	科目責任者
1	前学期	松井 英幸 関根 哲子

学習目標 (GIO)	学際的な位置にある色彩を現在の歯科における応用項目の一助とすることができること。
担当教員	松井 英幸 関根 哲子
教科書	歯科医学の色彩学基礎 日本歯科色彩教育振興会編 2005 / 日本色研 新配色カード199a
参考図書	色彩感覚訓練具および色彩弁別シート等はコピー配布します。
評価方法 (EV)	出席率1 / 3以上、筆記試験点数60点以下は再試験とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	審美は一般に美しさや好ましさと関連しています。美しさの要件として色に対する認識は欠かせない要素です。色は色彩学の領域で理解することができます。歯の色を表すことは審美性に活かして色を見、視知覚と一般に考えられている色のイメージなどが基本となります。色彩学の基礎を学び歯科に応用できる学習を行います。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/10	色彩学1	【授業の一般目標】 色彩学の現在について体系的な枠組みとして概説します。 【行動目標 (SBOs)】 初等中等教育で学ぶ機会の少ない体系的な色彩の理解。 【準備学習項目・時間】 色彩の感覚を理解します。 【学習方略 (LS)】 色彩に対するイメージについて、それぞれの理解の仕方を重視した内容を確認します。	松井英幸
第2回 4/17	色の表示1	【授業の一般目標】 色の表示と伝達 / 色名 (慣用色名・系統色名)。 【行動目標 (SBOs)】 理解している色名の幅を広げることができる。 【準備学習項目・時間】 国語辞書・英語辞書などからあらかじめ色名を調べておくことが参考になる。(30分) 【学習方略 (LS)】 日常生活の中で使われている色名について再確認しておくことが色彩学を理解する上で役立つ。	松井英幸
第3回 4/24	色の表示2	【授業の一般目標】 視知覚の三要素について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 色の見えを理解する方法として色彩の物理的・心理的要因をあげられる。 【準備学習項目・時間】 教科書から色彩体系の表示&伝達について図解を参考にする。(30分) 【学習方略 (LS)】 市知覚の三要素の中から「光」の物理特性について知る。	松井英幸

第4回 5/1	色の表示3	<p>【授業の一般目標】 視知覚の三要素について「知覚の生理学的」な意味を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 色覚および知覚について特に生理学的な特性を理解として光学との関係について理解できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 日常生活の中から各自関心のある色彩についてあらかじめ集めておくこと。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 色彩の混色(光・絵の具など)をすることについて記憶しておくこと。</p>	松井英幸
第5回 5/8	色の表示と伝達1	<p>【授業の一般目標】 情報機器による色の現れ方や仕組みについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 色彩の現れか方について体系的に説明することができること。</p> <p>【準備学習項目・時間】 視知覚の三要素から具体的な色について理解ができること。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 色彩が日常的な対象として客観的に意識されていることを確認する。</p>	松井英幸
第6回 5/15	色の表示と伝達2	<p>【授業の一般目標】 視知覚される色の体系的な表示方法として色のモノサシを理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 普遍的な色の表示方法である国際照明委員会の規定する方法の理解。</p> <p>【準備学習項目・時間】 色の視知覚の三要素に基づいた方法による色の表示と伝達方法。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 配布するコード表へ色彩見本で構成する。</p>	松井英幸
第7回 5/22	色の表示と伝達3	<p>【授業の一般目標】 基本的な色彩表示体系について概説する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 色彩体系の表示とそれぞれの体系の違いについて理解する。</p> <p>【準備学習項目・時間】 事前に配布したコード表を用意し理解しておくこと。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 コード表の作成と色体系を見本として完成する。</p>	松井英幸
第8回 5/29	色の見え1	<p>【授業の一般目標】 色彩感覚を客観的に把握するために色の弁別およびイメージ感覚を行う。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 各自色彩感覚を理解し能力向上のために簡略な実験を行う。</p> <p>【準備学習項目・時間】 色彩弁別器および色彩イメージ(スライド)を用意する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 色の見えを実施し各自の持つイメージ構成を取得する。</p>	松井英幸
第9回 6/5	色の見え2	<p>【授業の一般目標】 色の見えに関する要因分析、照明条件等による違いを概説する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 視知覚の三要素の条件について各要因毎で見えの誤差が生じることについて理解する。</p> <p>【準備学習項目・時間】 専門的な用語が発生するので教科書を参考に理解しておく。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 表示伝達における学習経験を参考にして色彩計算を行う。</p>	松井英幸

第10回 6/12	歯科の色彩1	<p>【授業の一般目標】 人体の色を表示する方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 物理的方法と心理物理的方法による色彩の測定を理解する。</p> <p>【準備学習項目・時間】 視知覚の三要素を再確認しておくこと。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 測色計を用いた簡易測色を実験し人体色を計測する。</p>	松井英幸
第11回 6/19	歯科の色彩2	<p>【授業の一般目標】 国際照明委員会の規定する色彩表示方法について解説する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 CIE1931によるXYZ、YxyおよびΔE表示を理解する。</p> <p>【準備学習項目・時間】 シェードガイドの色彩表示についてあらかじめ調査しておく。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 視知覚の三要素の数式的理解を並行して行う。</p>	関根哲子
第12回 6/26	歯科の色彩3	<p>【授業の一般目標】 人体色の表示を視感比色によって判定する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 歯科ではシェードマッチング等の呼び名があることを理解する。</p> <p>【準備学習項目・時間】 シェードガイドと色見本を用意する。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 照明器を用いた比色方法の基本と実践を行う。</p>	関根哲子
第13回 7/3	審美と色彩	<p>【授業の一般目標】 色彩構成で行う色の見えの効果を実験し経験する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 コンポジションと色の仕組みについて理解できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 各自の思考がわかるようなファッション、小物を用意しておくこと。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 色彩の応用を理解するために各自の持ち物の中から事例として分析する。</p>	松井英幸
第14回 7/10	カラー コーディネート	<p>【授業の一般目標】 化粧・インテリア・建築・看板、公共施設、乗り物などの色彩について概説する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 好き・嫌いの傾向と分析について理解できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 色彩感覚訓練における各自の評価との照合を行う。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 日本人の色彩嗜好および色の好み資料を参照する。</p>	松井英幸
第15回 7/24	平常試験 および解説講義	<p>【授業の一般目標】 平常試験および解説講義。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 講義の内容を理解する。</p> <p>【準備学習項目・時間】 講義の復習をしておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p>	松井英幸